

福祉サービス第三者評価結果

事業所名 かしわ台あおぞら保育園

発効：平成28年2月16日（平成31年2月15日まで有効）

公益社団法人神奈川県介護福祉士会

公益社団法人神奈川県介護福祉士会 第三者評価結果

事業所基本事項

フリガナ	カシワダイアオゾラホイクエン
事業所名 (正式名称を記載)	かしわ台あおぞら保育園
事業所種別	保育所
事業所住所 最寄駅	〒243-0402 神奈川県海老名市柏ヶ谷555-6 相鉄線「かしわ台」駅より 徒歩10分
事業所電話番号	046-236-0522
事業所FAX番号	046-236-0523
事業所代表者名	役職名 園長 氏名 中島 不二恵
法人名及び 法人代表者名	法人名 社会福祉法人 あゆみ会 法人代表者氏名 理事長 溝 渕 信 一
URL	http://www.aozora-k.jp/aozora-hoikuen
e-mail	aozora@aozora-k.jp
問合せ対応時間	8:30~17:30

事業所の概要1

開設年月日	平成19年7月1日
定員数	60名
都市計画法上の用途地域	
建物構造	軽量鉄骨造り 1階建て
面積	敷地面積(830.65)㎡ 延床面積(413.91)㎡

事業所の概要2 (職員の概要)

総職員数	26名
うち、次の職種に該当する職員数	園長 (1名) 保育士 (18名) 栄養士 (1名) 調理員 (3名) 事務員 (1名) 安全監視員 (2名)

事業所の概要3 (受入・利用可能サービスの概要)

受入年齢	生後6ヶ月~小学校就学未満	
延長保育の実施	有	備考:
休日保育の実施	無	備考:
一時保育の実施	有	備考:
障害児保育の実施	無	備考:
病後児保育の実施	無	備考:

保育の方針

<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな人間性を持った子どもの育成 ・心と身体の自立を促す保育
--

公益社団法人神奈川県介護福祉士会 第三者評価結果

1. 総合コメント

総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善を要する点）

- 「子ども一人ひとりを大切に、保護者から信頼され、地域に愛される保育園を目指す」ことを保育理念に置き、「①豊かな人間性を持った子どもを育成する、②心と身体の自立を促す保育」を保育方針として、子どもたちの保育を実践している。定員60名、各クラス10名前後の少人数の園で、子どもたち一人ひとりに向き合い、アットホームな雰囲気の中で子どもたちの声を聞いている。
- 園周辺は緑に恵まれ、天気の良い日は子どもたちが近くの公園や川に散歩に出かけている。四季折々の自然とふれあうことで、子どもたちは季節感や開放感を味わっている。散歩途中で初めて見たものがあると、園に帰ってから図鑑を使って調べている。
- 運動会や生活発表会の行事を行っている。運動会では、子どもたちができるようになったことを積極的に取り入れて表現している。生活発表会では、ハンドベルや創作遊戯など、各年齢に応じた日ごろの成果を保護者に披露している。また、リトミック教室や茶道教室、テニス教室、「英語であそぼう」を、定期的に行っている。
- 異年齢保育を取り入れ、年齢の異なる子どもと関わる機会を多く作っている。お店屋さんごっこや、お盆休みの週の縦割り保育などでは、年長クラスが小さい子どもたちの面倒をみて、小さい子どもは大きい子どもに憧れ、上の子どもの真似をしながら遊んでいる。
- 当番活動を取り入れている。当番になった子どもは、朝の会で皆の前で挨拶し、今日の人数を知らせたり、給食の世話やゴミ集めなど、クラスの中の役割を担っている。また、食育のボード係として、「食物バランス表」に昼食の内容を分類している。
- 農作物計画表により、園内の畑で、ジャガイモやナス、キュウリ、トマト、玉ねぎ、ダイコンなどの栽培を行っている。収穫した野菜は、子どもたちが絵に描いたり、野菜あてゲームに使用したり、昼食の食材として使用している。栽培した野菜に直接ふれることで、子どもたちは食への関心を深めている。また、食育への取り組みとして、パン作りやケーキ作りのクッキングを行っている。
- 友達と仲良くしようという趣旨で、クラス単位で「言葉の集会」を行っている。「言葉の集会」では、皆の前で友達の良いところを話したり、他の子どもたちと質問形式のやり取りを行って楽しんでいる。
- 地域の子育て支援として、園庭を毎日開放し、個別の子育て相談も、随時、受け付けている。あおぞら祭りや運動会、もちつき、観劇会などの園の行事に、地域の親子の参加を呼びかけている。地域の子育て支援では、1日3～5人を対象に、一時保育も行っている。
- 朝夕の登降園時には、安全監視員を2名配置し、子どもたちの安心、安全を確保している。子どもたちは安全監視員と顔馴染みになり、挨拶をかわして通っている。

評価領域ごとの特記事項

1	人権への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもや保護者に対する適切な言葉遣いや態度は、「人権についてのマニュアル」を整備し、職員会議の場で、園長より人権についての説明を行っている。会議録は回覧し、全職員に周知している。 ○両親のいずれかが外国人の子どもが在籍している。保護者との日常のやりとりでは、絵を描いたり、実物を見せたりして工夫している。また、差別の禁止を職員会議で説明し、他の子どもたちの行動に問題がある時には、保育士がさりげなく関わり、差別につながらないよう対応している。 ○職員が児童虐待防止の研修会に参加し、内容を職員会議で報告している。保護者から夫のDVの相談を受けた時には、海老名市の子育て支援課に連絡し、担当職員と連携しながら、母親へアドバイスを行った。 ○個人情報の保護については、「個人情報保護方針」を定め、職員の入職時に、一人ひとりに内容を説明し、個人情報保護の同意書を手入している。 ○実習生の受け入れ時には、実習前にオリエンテーションを行い、個人情報保護の説明を行っている。
---	--------	---

2	利用者の意思・可能性を尊重した自立生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ○「園のしおり」に家庭との情報交換の手段、方法を明記し、乳児は「連絡帳」で、幼児は「朝、夕連絡ボード」で、家庭との連絡、情報交換を行っている。0歳児の「連絡帳」は複写式を使用し、いつでも内容を確認できるようにしている。 ○クラス懇談会は年2回開催している。個別面談は随時行い、園に対しての意見や希望を常に聴き取る体制を整えている。園の行事の後には、保護者アンケートを実施し、保護者の声を次に活かすようにしている。 ○保護者からの意見や希望、要望は「受付書」に記入し、内容によっては職員に回覧している。行事のアンケート結果は、「園だより」に掲載したり、園内に掲示して、保護者に伝えている。
3	サービスマネジメントシステムの確立	<ul style="list-style-type: none"> ○「苦情解決事務処理要綱」を整備し、苦情の受付から解決までの手順を明記している。苦情受付担当者や苦情解決責任者、第三者委員を置き、園内に苦情解決の仕組みを掲示している。 ○園の開設時より、年2回、運営委員会を定期的に開催している。運営委員会には第三者委員も参加し、意見を述べている。第三者委員は、園の行事にも参加している。 ○室内外の環境整備については、「保健衛生マニュアル」を整備し、室内環境管理や危険物管理、玩具や遊具の消毒、寝具や砂場の日光消毒などの留意点や確認時期を定めている。点検や実行の結果は、日誌やチェック表に記録している。 ○「園のしおり」で与薬についての取り扱いを示している。薬は塗り薬と発熱・痙攣時の座薬のみを預かっている。保護者からの「与薬依頼書」を確認し、朝の受け入れ職員が薬を預かっている。 ○体調不良児の早期発見の仕組みとして、一日の健康状態を確認するため、保育日誌や健康チェックカードに、朝夕の体温や特記事項を記入している。 ○「事故、ケガに関するマニュアル」や「事故対応マニュアル」を整備している。ケガなどが起きた時には、第三者が見てもわかるよう記録し、防止策を検討している。防止策は職員に回覧して周知する他、内容によっては、臨時職員会議を開催して、周知を図っている。 ○「ノロウイルス対応マニュアル」や「平常時の健康管理」を整備して、感染症の予防に努めている。感染症が発生しやすい時期には、配布物や掲示物で、保護者に予防策を伝えている。また、医療機関や連絡先を玄関に掲示して、保護者が安心して医療機関を利用できるよう配慮している。 ○「あおぞら保育園消防計画」を作成し、避難訓練を毎月実施している。避難方法や災害時の役割分担は、廊下や保育室に掲示し、災害発生時に、速やかに対応できるよう心がけている。
4	地域との交流・連携	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の高齢者グループ(ゆうゆうの会)の方たちが来園し、お手玉やあやとり、コマ遊びなどを、子どもたちと一緒に楽しんでいる。敬老の日には高齢者から伝承遊びを教わり、お礼に子どもたちが首飾りをプレゼントしている。 ○園庭を毎日開放し、あおぞら祭りや運動会、もちつき、観劇会などの園の行事に、地域の親子の参加を呼びかけている。行事の案内は、「園だより」に掲載する他、地域に向けた掲示板で知らせている。 ○地域の子育て相談は、園庭開放時や見学に来た時に、相談を受けることが多い。子育て相談は、随時、受け付けを行っている。 ○学区の小学校と連携し、就学前に年長児が小学校に半日遊びに出かける「なかよし会」を開催している。また、他の学校は、学年主任に来園してもらい、情報交換を行っている。 ○災害発生時の地域支援として、園所有の AED や乳幼児トイレ、布団などを提供できることを、職員会議で周知している。園の備蓄倉庫に3日分の備蓄品を用意しているが、防災倉庫はもうひとつ増やす予定である。

5	運営上の透明性の確保と継続性	<ul style="list-style-type: none">○全職員を対象として、「自己チェックリスト100」や「人権チェックリスト」、「事故リスク軽減のためのチェック」を、年2回行い、自己評価表を提出している。チェックリストに取り組むことで、日々の保育の振り返りを行っている。○玄関前の掲示板に、「保育理念」や「園だより」、「年間行事表」を掲示するとともに、法人のホームページに、園の情報を掲載している。○保護者の保育参観や保育参加は、入園説明会や進級説明会の場で、受け入れについての説明を行っている。保育参観や保育参加は、年2回行う他、希望に応じて随時受け入れている。
6	職員の資質向上促進	<ul style="list-style-type: none">○外部研修については、「職員外部研修」にて年間の研修計画を作成し、参加する職員を決めている。内部研修は、毎月の職員会議の場で、計画的に開催している。○外部研修に参加した場合には、研修受講復命書を提出するとともに、復命書は回覧し、職員会議で研修報告を行っている。研修受講復命書は回覧後、事務所に置き、職員がいつでも内容を確認できるようにしている。○4～5校の実習生を受け入れている。実習生の受け入れは、園長や主任保育士がとりまとめを行い、実習生には「課題レポート」を提出してもらっている。実習生の受け入れは、日頃の保育の見直しの機会としている。

2. 評価項目に基づく評価の結果

大項目 1 保育環境の整備

評価機関が定めた評価項目に添って、調査を行った結果です

大項目 1 全体 （調査確認事項全 80 事項） を通してのサービスの達成状況	100 %
---	--------------

大項目 1 の内容(概要)

1	人権の尊重	子どもや保護者に対する態度や言葉遣い 出生や国籍、性差などによる差別の禁止 子どもの虐待予防や早期発見のための地域の関係機関・団体との連携
2	プライバシー確保	プライバシー確保への配慮 個人情報保護の体制整備
3	家庭と保育園との信頼関係の確立	家庭との連絡、情報交換の体制 家庭の意向・希望の把握
4	苦情解決システム	苦情解決の体制整備
5	環境整備	温度や湿度等の管理 洗剤等の危険物の管理 おもちゃ、遊具等の管理
6	健康管理(感染症対策・救急救命を含む)	体調不良児、けがへの対応 感染症への対応 救急事態発生時の医療機関・家族等との連携
7	危機管理(防災・防犯)	火災や震災等の対応 日常の防災・防犯体制の整備
8	地域の子育て支援	地域内の子育てニーズの把握と支援
9	自己評価と情報開示	自己点検・改善活動の実施 地域への情報提供、情報開示 見学や保育参観の機会の設定
10	職員研修	職員研修の実施 実習生の受入れ、指導

大項目 2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>子どもと保育士とのかかわりにおいて、子どもの情緒の安定をはかることや、順調な発育・発達を促すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①各年齢に応じた受容的な声かけやスキンシップを心掛ける。 ②戸外遊びを中心に季節ごと十分自然に親しむ。 ③同年齢の関わりだけでなく異年齢の関わりを取り入れる。</p>	<p>①朝夕の保護者との会話の中で、子どもが朝、母親に叱られたというような話があった時は、特に叱られたことへのフォローをスキンシップをとりながら丁寧に行っていることを、「人権チェックリスト」や「職員会議録」などで確認した。 ②散歩などの戸外遊びを通して、季節感を楽しみながら十分に身体を動かし、気持ちを発散させていることを、「春の園外散歩」や訪問調査時の散歩の様子で確認した。 ③いろいろな場面で異年齢保育を取り入れ、年長児が年少児をリードして遊んだり、2歳児のクラスに行き本を読んであげたり、自分より小さい子どもを兄弟のように可愛がっていることを、「縦割り保育園に散歩」や訪問調査時の子どもたちの様子などで確認した。</p>
<p>子ども同士のかかわりにおいて、個の違いを認めあうことや他者と自分を大切にすることを育てるようするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①言葉の集会。 ②相手の良い所を発表する。 ③運動会や発表会など、得意な所を発揮したり、不得意な所は助け合ってつくりあげていく。</p>	<p>①友達と仲良くしようという趣旨で、クラス単位で言葉の集会を行っていること、言葉の集会では、最近乱暴な言葉を使う人がいるがどう思うか皆に考えてもらい、話し合いの機会を設けていることを、「保育日誌」や聴き取りで確認した。 ②言葉の集会の中で、友達の良いところを皆の前で話していることを、「保育日誌」や聴き取りで確認した。 ③運動が得意、遊戯が得意、制作が得意など、子どもたちがそれぞれの得意な分野を伸ばすことができるよう保育計画に組み入れ、担任は意識しながら保育を行っていることを、「運動会のお知らせ」や「園だより」などで確認した。</p>

<p>子どもと社会とのかわりにおいて、人に役立つことの喜びを感じたり、人と関わることの楽しさを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①お当番活動(ゴミ集め・畑係り・給食係り・食育ボード係り等)。 ②世代間交流として地域の方が園に来て昔遊びをする。 ③お店屋さんごっこやお盆休みの週の縦割保育を通し異年齢で活動する(下のクラスの面倒をみて活動する)。</p>	<p>①当番になった子どもは、朝の会で皆の前で挨拶し、今日の人数を知らせたり、給食の世話、ゴミ集めなど、クラスの中の役割を担っていることを、訪問調査時の当番の様子で確認した。 ②地域の高齢者グループ(ゆうゆうの会)の方たちが来園し、お手玉やあやとり、コマ遊びなどを一緒に楽しんでいること、敬老の日には高齢者から伝承遊びを教わり、お礼に首飾りをプレゼントしていることを、「世代間交流」や聞き取りで確認した。 ③縦割り保育により、異年齢の関わりを多く保育に取り入れていること、年長クラスは小さい子どもたちの面倒を見て、小さい子どもは大きい子どもにあこがれ、上の子どもの真似をしながら楽しんでいることを、「お店屋さんごっこ」や「縦割保育」で確認した。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、言葉のやりとりを楽しめるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①絵本、紙芝居の読み聞かせ。 ②集会や誕生会で質問を出す。 ③発表会での劇あそびでは、年齢に合わせた一言でもセリフが言えるよう進めている。</p>	<p>①保育の中で絵本や紙芝居を読み聞かせ、言葉の面白さを知ったり、言葉の中から人の思いを理解したりしていること、また、「お話玉手箱」として素話、大型紙芝居、パネルシアターなどを行っていることを、「お話玉手箱」や聞き取りで確認した。 ②言葉の集会や誕生会などで、他の子どもたちとの質問形式のやり取りを行い、皆で楽しんでいることを、「誕生会(質問に答える)」や聞き取りで確認した。 ③子どもたちの年齢に合わせて、どの子どももセリフが言える劇を創作し、12月の生活発表会で演じていることを、「発表会プログラム」や「発表会お礼文」で確認した。</p>

<p>生活や遊びなどを通して、話すこと・聞くことが楽しめることや言葉の感覚が豊かになること、自分の伝えたいことが相手に伝わる喜びを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①生活発表～休日のエピソードを休み明けに発表する。 ②英語教室にて英語の単語を言ってみたり、会話をビデオから聞き楽しんでいる。 ③お話し会～効果音や曲を流しながら、パネルシアターや大型紙芝居や素話を楽しんで聞く。</p>	<p>①夏休みや正月の後には、休み中の生活を皆の前で話す機会を設け、皆の前で話すことの楽しさや、人の話を聞くことの楽しさを味わっていることを、「保育日誌」や「保育課程」などで確認した。 ②3、4、5歳児は月2回、英語教室を行い、英語での会話を楽しんでいることを、「英語で遊ぼう年間カリキュラム」や「保育日誌」で確認した。 ③お話し会として、「お話玉手箱」で素話や大型紙芝居、パネルシアターなどを楽しんでいることを、「お話玉手箱」や聴き取りで確認した。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、楽しんで表現することができるようにすることや表現したい気持ちを育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①リトミックを通し、発令や音・リズム・拍子に合わせて、身体表現を楽しんでいる。 ②制作～お絵描きを通し、体験したこと、観察したことなど、感じたままに、又は見たものそのものを表現し楽しんでいる。 ③生活発表会や運動会。</p>	<p>①リトミックは年間計画を立て、和音遊びや床たたきでのリズム打ちなど、音に合わせて身体表現を楽しんでいることを、「リトミック年間カリキュラム」や聴き取りで確認した。 ②季節を考えた制作を年間計画に入れ、各クラスで楽しんでいることを、「年間指導計画」や訪問調査時の保育室の展示物で確認した。 ③運動会では様々な競技に取り組み、各年齢に合った表現活動を行っていること、また12月には今までの遊びの集大成として生活発表会を行い、保護者にも楽しんでもらっていることを、「運動会プログラム」や「生活発表会プログラム」で確認した。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、自発的に表現する意欲を育むことやみんなと一緒に表現する喜びを味わえるようにすること、創造的に表現することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①運動会。 ②発表会。 ③お店屋さんごっこ。 それぞれの活動が得意・不得意様々でも互いに助け合い、協力して、1つの目標に向かって自己表現する喜びや達成感を育む。</p>	<p>①運動会では、自分たちのできるようになったことを積極的に取り入れ、表現していることを、「運動会のお知らせ、プログラム」や「年間指導計画」で確認した。 ②生活発表会では、年長クラスではハンドベル、創作遊戯など、各年齢に応じた日ごろの成果を保護者に見てもらい楽しんでいることを、「発表会プログラム」や「年間指導計画」などで確認した。 ③子どもたちがバッグを制作していたところ、これを持って買物しよう、お店屋さんごっこをしようということになり、他のクラスと一緒にお店屋さんごっこをすることになったこと、食べ物屋さん、虫屋さん、ジュース屋さんなどのお店ができ、作ったお金を持ち、異年齢のペアで買物をして楽しんだことを、「お店屋さんごっこ(異年齢保育)」や聴き取りで確認した。</p>

<p>生活や遊びなどを通して、聞く・見るなど感覚の働きを豊かにすることや身体を動かす楽しさを味わうこと、身近なものに対する興味や関心を引き出すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①リトミック～発令やピアノの音に合わせて身体を使った表現を楽しむ。 ②散歩に出掛け、身近な自然に触れたり見たりすることで気づき、様々な自然に興味関心を持つ。 ③英語であそぼう～絵カードを見て名称を英語で答えたり、英語の曲に合わせて歌ったり踊ったりして英語に興味を深める。</p>	<p>①年長クラスはピアノ、年少クラスはタンバリン、カスタネットなどを使用して、年間計画に沿ってリトミックを行い楽しんでいることを、「リトミック年間カリキュラム」や「年間指導計画」で確認した。 ②天気の良い日は、近くの公園や川に散歩に行き、四季折々の自然にふれあい、感動したり、わからないものがあると園に帰って図鑑を開いて調べたりしていることを、聴き取りで確認した。 ③英語で遊ぼうでは、英語での名称を絵カードで覚え、歌を聞きながら楽しんでいることを、「英語であそぼう年間カリキュラム」や聴き取りで確認した。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、身近な様々なものに対する探索意欲を満足させることや社会や自然の事象や、動植物への興味や関心をもてるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①畑で季節の野菜の栽培と収穫をする。 ②自然の散策を通し、動植物に興味・関心を持つ声掛けを行う。 ③絵本・図鑑を保育室で自由に見られるようにしてある。</p>	<p>①園内の畑で、野菜の苗植え、草取り、水やり、収穫までを、年間の農作物計画表にそって行い、植物への関心を深めていること、収穫したものを絵に描いたり、給食で調理してもらうために厨房に持っていき、ダイコンの漬物などを給食に出してもらっていることを、「農作物計画表」や園内の畑の様子で確認した。 ②天気の良い日は、近くの公園や川に散歩に行き、自然に親しんでいることを、聴き取りで確認した。 ③興味・関心を持った物は、図鑑などで調べて、より興味を持つことができるようにしていることを、訪問調査時の保育室の様子で確認した。</p>
<p>自分から食べようとする意欲を育んだり、排泄をしようとする意欲を育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①体の仕組みについて、簡単な絵本や紙芝居を読み聞かせ大切さを伝えている。 ②食物のグループ表を保育室に貼る。 ③食物のバランス表をボードを使って仕分ける。 ④野菜あてゲームにより、野菜に興味を持つ。</p>	<p>①子どもたちは、園で収穫した野菜を好き嫌いなく食べていること、食べたものが身体の中でどうなるのか、絵本や紙芝居で読み聞かせを行っていることを、各クラスに貼ってあるバランス表などで確認した。 ②食べ物の役割を3つのグループに色分けした表を作成し、クラスに貼っていること、子どもたちは今日の昼食の食べ物がどのグループに入るか確認していることを、「たべものバランスひょう」や「バランスよくたべるとげんきになれる」などで確認した。 ③各クラスに食物バランスボードがあり、昼食の食物を3つのグループに分け、今日はどんなものを食べたか皆で確認していることを、訪問調査時の昼食の様子で確認した。 ④調理前の野菜を箱の中に入れ、触るだけで野菜の名前を当てるゲームを楽しみ、食べる意欲を養っていることを、「野菜あてゲーム」や聴き取りで確認した。</p>

<p>身の回りのことを自分でしようとする意欲を育むことや基本的な生活習慣を身につけること、食事や休息の大切さを理解することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>①子ども達と一緒に目標のボードを作る。 ②集会を通じて、プールの約束だったり、歯みがきの仕方を知る。 ③生活習慣についての絵本・紙芝居を読み聞かせ、生活カードクイズを行い理解できるよう工夫する。</p>	<p>①毎日、「手洗い、うがいをする」、「ありがとうと言う」、「スリッパを揃える」など目標を決め、それができた時には、大きなリンゴの木のボードに、リンゴを貼って意欲を育んでいることを、「目標掲示板」や「りんごの木のボード」で確認した。 ②集会の時には、園での約束を聞き、生活の習慣を身につけていることを、「プール開き(プールでのお約束)」や聴き取りで確認した。 ③絵本、紙芝居などを通して、食事や昼寝の大切さを教えていることを、聴き取りで確認した。</p>
---	--	--

大項目3 保育園の特徴

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>子どもの豊かな心と身体をはぐくむための特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>① 戸外遊びを中心に自然に興味を持たせる。 ② 幼児よりテニス教室を定期的を実施。 ③ 縦割活動を通し、同年齢児の他に異年齢児と関わる機会を設ける。</p>	<p>① 近くの公園などに行くときは、ビニール袋を持っていき、どんぐりを集め、ごっこ遊びに使ったり、落ち葉を拾い、目の部分をあけ、お面にして遊んだり、自然に親しみ、遊びに広げて楽しんでいることを、聴き取りで確認した。 ② リトミック教室や茶道教室、テニス教室を、月2回行っていること、運動能力だけでなく、技能や礼儀などを養っていることを、「テニス教室実施要綱」や聴き取りで確認した。 ③ 兄弟の少ない子どもが多いので、縦割り保育を行い、異年齢の子どもとの関わりを保育の中に取り入れ、相手を思いやる心を育てていることを、「縦割保育実践」や「お店屋さんごっこ」で確認した。</p>
<p>保育環境に特別な配慮を必要とする子ども(長時間保育、障害児保育、乳児保育、外国籍園児)の保育に関しての特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>① 各年齢に応じた遊びを設定し、適切なコーナー遊びを設定している。 ② 様々な保育士と関わりを持ち、触れ合いを楽しむ。 ③ 言葉に慣れていない子どもには言葉を補ったり気持ちを代弁し、ひとりひとり一対一の関わり場をつくり、十分に関わられるようにしている。</p>	<p>① 各クラスで、ぬり絵コーナーや、お絵かきコーナー、制作コーナー、ブロックコーナーなどを設け、自由に遊べるようにしていることを、訪問調査時の保育室の様子や聴き取りで確認した。 ② 普段は様々な保育士と関わりを持って楽しんでいるが、長時間保育の子どもは、保育士と1対1の関係を作り、心の安定を図っていること、父親が外国人で日本語があまり理解できない子どもがいるが、本人が理解できる言葉を使い、ゆっくりと話をするよう工夫していることを、聴き取りで確認した。 ③ 年齢の低い子どもは、思ったことが伝えられないことがあるため、保育士が何を言いたいのか気持ちをくんで、代弁するようにしていることを、聴き取りで確認した。</p>

<p>健康管理に特別な配慮を必要とする子ども(アレルギー疾患をもつ園児、乳児保育、病後時保育など)の保育に関しての特徴的な取り組み(アレルギー食対応、個別食、離乳食など)について説明してください</p>	<p>①保護者と献立・食材を確認し、代替食材を提供している。 ②0歳児は家庭と担任・栄養士と連携をとり、無理のないよう離乳食を進めている。 ③アレルギー食は誤食のないようトレイの色を変え、名札をつけ更に器を包むラップをかけ、そこにも名前を記入し区別し、提供のし方も個別の机をさりげなく置いたり、配膳開始と同時にアレルギー児の側に保育士がつくことになっている。</p>	<p>①アレルギーのある子どもは、医師の診断書を出してもらっていること、保護者に献立の中の食材を確認してもらい、代替食を用意していることを、「献立表」や「食材チェック表」で確認した。 ②0歳児は保護者、担任、栄養士が連携を取りながら、無理のないように離乳食を進めていること、離乳食の進み具合は、食材チェック表を確認しながら行っていることを、「食材チェック表」や聴き取りで確認した。 ③アレルギーのある子どもの代替食は、間違いのないようにトレイの色や名札、ラップの上の名前を、調理員と保育士が確認していること、食事の時は、保育士が側について食べるようにしていることを、「献立表」や「食材チェック表」で確認した。</p>
<p>食に関しての特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>①園内に畑をつくり、季節ごとの野菜作りを行っている(栽培と収穫を楽しんでいる)。 ②食物バランス表にて栄養分類を年長児が行っている。 ③クッキー作りやパン作り・サラダ作り等、クッキングを楽しんでいる。</p>	<p>①農作物計画表により、ジャガイモやナス、キュウリ、トマト、玉ねぎ、ダイコンなどを植え付け、栽培、収穫をして給食に使用していることを、「農作物計画表」や園内の畑の様子で確認した。 ②食べ物には身体の血や肉になるもの、身体を動かすもの、身体の調子を整えるものと、3つの食品があることを表にして、保育の中で教えていること、毎日の昼食に何が入っているか、どれに当てはまるかを考え、その日の当番が食品カードをボードに分類しながら貼り付けていることを、「食物バランス表」や訪問調査時の当番の様子で確認した。 ③子どもたちがパン作りやクッキー作りなど、作る楽しみを体験できる機会を多く作っていること、10月にはさんま1匹の給食の日があり、栄養士がさんまの模型を作り、それを見ながら、さんまの食べ方を教えてもらい、自分で骨を取って食べる経験をしたこと、日常の保育の中でも、「野菜当てゲーム」などにより、食に関心を持ち、何でも食べられるように取り組んでいることを、「パンづくり日誌」や「クッキーづくり日誌」で確認した。</p>

<p>家庭とのコミュニケーションに関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>①朝夕の送迎時、担当保育士が担任へ保護者からの伝言を伝える。 ②親子で行事に参加できる機会を設ける。 ③参観後には懇談会を設け、家庭での様子を話したり、困っていることには保護者同士で意見交換を行えるようにしている。</p>	<p>①朝夕の保護者の話を十分に聞き取り、乳児は連絡帳で、幼児は教室にある伝言板などを通じて、コミュニケーションを図っていること、定員60人という小規模の園なので、保育士と保護者の関係がよくとれていることを、「伝言ボード」や保育室の様子で確認した。 ②親子遠足や運動会、夏祭り、あおぞら祭りなど、親子が参加する機会を多く作っていること、保護者との関係作りに努めていることを、「親子遠足」や「運動会」などで確認した。 ③保育参観の後に、保護者の懇談会を設け、相談を受けたり、保護者同士での意見交換を行っていること、保護者から、家ではおもちゃを片付けないのに、園ではきちんと片付けているのを見てびっくりしたという意見があがっていることを、「懇談会報告書」や聴き取りで確認した。</p>
<p>地域の子育て支援に関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>①園庭開放を月～金曜日実施し、同年齢児と遊んだり、保護者との会話を楽しんでいる(子育て相談)。 ②あおぞら祭りや運動会を利用し招待し、在園児と交流できる場を設けている。 ③一時保育を実施し、地域のニーズに答えている。</p>	<p>①地域で子育てをしている方たちに、月曜日から金曜日まで園庭開放を行っていること、子どもを遊ばせながら、保育士に子育ての相談があったりすることを、「園庭開放受付表」や聴き取りで確認した。 ②未就園児を対象に、あおぞら祭りや運動会などに招待をして、在園児と一緒に楽しむ機会を設けていることを、「あおぞら祭り来場者受付表」や「運動会のお誘い」で確認した。 ③1日3～5人くらいを対象に、一時保育を行っていること、子どもたちは同年齢のクラスに入り、一緒に遊んでいることを、「一時保育受付表」や聴き取りで確認した。</p>

3. 利用者への調査

～ 保護者アンケート調査を実施した結果です ～

(1) 調査の状況

調査期間	平成27年9月
調査方法	所定の調査票(アンケート票)により実施した。
調査対象者の匿名化	調査は無記名で行い、調査結果から回答について個人が特定化される場合は、評価機関で匿名化を図った。
アンケート調査票の配布	対象者には事業所を經由して調査票を配布した。
アンケート調査票の回収	記入済みの調査票は対象者から直接、評価機関に郵送された。
回収の状況	調査票配布数 56通 : 返送通数 40通 : 回収率 71.4%

(2) 調査結果の傾向

◆アンケート調査全体の傾向

- 項目別の回答状況では、「保育方針の周知」や「園での子どもの様子の報告」、「在園中の体調不良やケガの説明」、「インフルエンザなどの感染症の情報提供」、「遊具の清潔面や安全面の配慮」、「保育内容」、「子どもに対する職員の対応や態度」、「子どもが楽しく過ごしている」について、高い満足が得られている。
- 一方、「子どもの個別の事情への相談」や「保育内容についての疑問への回答」、「懇談会など園との意見交換」、「防犯対策」、「緊急時の連絡体制」、「保護者に対する職員の対応や態度」については、課題があるとの声が寄せられ、より一層の努力が期待されている。
- 個別意見では良い点として、「保育士の対応や挨拶」、「給食がおいしい」などが挙げられている。
- 保育内容では、「行事やイベントが充実している」、「英語、リトミック、テニス教室の実施」などに、多くの意見が寄せられていた。
- 一方、改善を望む点としては、「保育士の対応」、「行事の開催日」などの意見が挙げられている。園に改善を望む点について、具体的な内容が挙がっていることから、今後の取り組みの課題として位置付けることを期待する。